

■このたび、当センター内に設置されている道路管理技術委員会では、活動成果をとりまとめた「道路管理技術委員会活動報告書（平成13年6月）」を作成しました。

この報告書は、過去3年間（平成10～12年度）における活動成果で、道路防災マップの作成、急崖斜面の空中写真撮影と写真管理の検討、トンネルの冬期路面管理と交通事故対策の検討、橋梁及びトンネルのデータベースの作成に関する検討、雪崩対策に関する検討および災害緊急時対応などからなっております。

この委員会の運営については、当センターの公益事業の一環として実施しており、活動成果については、必要に応じて各道路管理者に提言することとしております。

なお、この報告書については、若干余部がありますので、ご希望の方は、当センターまでお申し出ください。



「道路管理技術委員会活動報告書」

編集後記 From Editorial Room

- 最近、落石等の斜面災害の連絡で夜中に携帯が鳴って起こされることが少なくなりました。豊浜や第2白糸を教訓として、ハード面での防災対策が緊急に進められ、確実に効果があがっていることを、実感しています。また、ソフト面での対策も進み、落石等の情報が一般から道路管理者に直接通報され、迅速な対応が可能となったケースも増え、地域との連携による防災体制の整備も着実に進んでいるようです。(H.T.)
- 「道路と防災」。ここ数年、北海道でも俄かに注目を浴びているテーマだと思います。「備えあれば憂いなし。」と言いながら、ともすれば忘れられがちな「防災」。

われわれ道路に携わる人間だけでなく、広く北海道民にもいろいろな情報を発信し、みんなで安全意識を高めなければならないことです。

ぜひたくさんの方に、「北の交差点第9号」が読まれることを期待します。(Y.T.)

- 最近、『リスクマネジメント』に関する話を聞く機会があり、日本の文化風土に馴染まない分野であるという説明に強く興味を引かれた。

『危険』について、リスク・ハザード・デンジャーの違いが明確でない文化風土のなかで、社会的責任や個人個人の責任のありかたについてここでも国際感覚が必要と痛感した。(Y.O.)

『北の交差点』とは…

古来、道が交わる場所では、人々の交流が生まれ、さまざまな文化が育ってきました。『北の交差点』というタイトルは、安全で快適な道路環境の創出をめざして、維持・管理に関係する「人」や「情報」が交流するところをイメージしています。

安全で快適な道路環境の創出を目指す技術情報誌

北の交差点® VOL.9

- 2001年6月発行
- 編集・発行 / 財団法人北海道道路管理技術センター
〒060-0807 札幌市北区北7条西2丁目東京建物札幌ビル6F
TEL 011-736-8577 FAX 011-736-8578
- 制作・印刷 / 株式会社須田製版